

第2510地区 第11グループ
函館東ロータリークラブ
2019~2020 会報

Now that we can !

今、私たちが出来る事！

2019~2020年度 会長 石畠 弘樹

- 例会場／ホテル函館ロイヤル TEL(0138)26-8181(代)
- 例会日／毎週火曜日 12:30~13:30
- 事務所／ニチロビル4F TEL(0138)23-3870 FAX(0138)22-2251
- 会長／石畠弘樹
- 副会長／田中治
- 会長エレクト／佐藤真一
- 幹事／安保裕一郎
- 副幹事／新保栄子
- 友好クラブ／長崎東ロータリークラブ



第3015回 12月20日(金)

本日の
プログラム

「クリスマス家族会」

於：ホテル函館ロイヤル

次週の
プログラム
1月7日(金)

「新年恒例会」

於：望楼 Noguchi 函館

第3014回例会 2019年12月17日(火) 天候 晴

■ロータリーソング

それでこそロータリー



■司会 田中 治 副会長

■委員会報告

1、親睦活動委員会：12月20日のクリスマス家族会、来年1月7日の新年恒例会よろしくお願ひいたします。

■幹事報告

1、他クラブ例会変更：12月18日(水)函館北RC、19日(木)函館RCは共に夜間例会、20日(金)函館五稜郭RC移動例会、23日(月)函館亀田RC夜間例会、25日(水)函館北RC、26日(木)函館RC、27日(金)函館五稜郭RCはそれぞれ自主体会となります。

「ロータリー財団・米山奨学金について」

ロータリー財団
米山記念奨学金委員会

委員長
宮崎 徳三郎 会員

副委員長
時 田 茂 会員



奉仕の人 米山梅吉～その生い立ちと人となり～

「35年記念誌 井口賢明『超我の人 米山梅吉の聲音』より」HPより一部抜粋

■生い立ち

静岡県は三島の西、長泉村（現在駿東郡長泉町）に幼時を過ごし、長じて、三井銀行に身を投じ、常務取締役、三井信託初代社長、退いて三井報恩会の理事長として全国に奉仕活動を続けた。外に大正9年、日本にはじめて東京ロータリークラブを創設し初代会長、更に青山学院の初等教育に終身献身した。その人、名は米山梅吉と言う。

月間テーマ 疾病予防と治療月間

この人、一方では漢詩、和歌、俳句もよくした文人で、藍壺（あいつぼ）と雅号した。幼児よりよく遊んだ黄瀬川にかかる滝、藍壺（鮎壺とも言う）にちなんでつけられたという。

米山梅吉は東京芝田村町に明治元年（1868）に生まれた。父は大和国高取の藩士和田竹造、母は静岡三嶋大社の神官日比谷右京の娘うた、その三男である。生時、和田姓、梅吉4歳の時（満年齢以下同じ）、父竹造死去、止むなく母の郷里三島に母とともに移り住んだ。梅吉は幼時から神童といわれた英才であった。郷里の納米里という処に「映雪舎」という塾のような小学校があった。梅吉は7歳の時、そこに入学した。兄の和田栄次郎がそこで教師をしていたからである。

梅吉11歳の時、納米里の隣部落、上土狩の米山家がこの出来のよい少年に眼をつけて養子にと望んだ。この米山家は旧今川時代から北條時代を経て四百年も続いた旧家、名主の家で、当時の当主は十三代藤三郎、夫人はさく、春子〔戸籍上 はる〕という一人娘（明治7年生）がいた。後の米山夫人である。映雪舎を終えた梅吉は明治14年（1881）沼津中学に入学した。毎日2里（8km）の道を長泉から歩いて通った。この学校は私学で、今の県立沼津東高の前身である旧制沼津中学ではない。前身を沼津兵学校といい、今も沼津駅前には、兵学校跡の記念碑が建っている。徳川慶喜が大政を奉還して駿府に隠棲した時、多数の幕臣がそれにつれて移り住んだ。その子弟の教育のために造られた学校である。



鮎壺の滝



高取城



映雪舎の由来

ロータリー米山記念奨学会とは？

(公益財団法人ロータリー米山記念奨学会HPより)

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会は、勉学・研究のために日本に在留している私費外国人留学生に対し、日本全国のロータリアンからの寄付金を財源に奨学生を支給し支援する、民間の奨学財団です。

■目的

ロータリー米山記念奨学会は、将来母国と日本との懸け橋となって国際社会で活躍する優秀な留学生を奨学することを目的としています。

優秀とは「(1) 学業」に対する熱意や優秀性はもちろんのこと、「(2) 異文化理解 (3) コミュニケーション能力」への意欲や能力に優れている点が含まれます。

ロータリー米山奨学生は、ロータリークラブを通して日本の文化、習慣などに触れ、社会参加と社会貢献の意識を育て、将来ロータリーの理想とする国際平和の創造と維持に貢献する人となることが期待されます。

(1) 学業

学問に対する研究の目的・目標を明確にし、研鑽（けんさん）を重ねてその成果をあげる努力をする。

(2) 異文化理解

異なる言語・文化・習慣などを理解する努力をする。

(3) コミュニケーション能力

人間関係における円滑なコミュニケーションを築き、自己の確立と共に他者を受入れる柔軟な姿勢をもつ。

■民間最大の奨学事業

年間の奨学生採用数は850人（枠）、事業費は14億円（2017-18年度決算）と、国内では民間最大の国際奨学事業となっています。これまでに支援してきた奨学生数は、累計で20,396人（2018年7月現在）。その出身国は、世界127の国と地域に及びます。

■特色～世話クラブとカウンセラー～

米山奨学生には、奨学生による経済的な支援だけでなく、ロータリークラブ独自の世話クラブと

カウンセラーア制度による心の通った支援があります。

世話クラブとは？

日本には約2,300のロータリークラブがあります。そのうち1つのクラブが、1人の奨学生の「世話クラブ」となります。米山奨学生は世話クラブの例会に月に一度出席し、ロータリー会員と積極的に交流して国際交流・相互理解を深めるとともに、ロータリーの奉仕の心を学びます。

世話クラブで行われること

米山奨学生は月に1回例会へ出席

奨学生の受け渡し

スピーチその他、

親睦活動・奉仕活動への参加など

カウンセラーとは？

奨学生1人に対し、世話クラブのロータリアンの中から1人がカウンセラーとなります。カウンセラーは、奨学生の個人的ケアにあたるアドバイザーです。

様々な職業、世代で構成されるロータリーカラーブでの交流は、奨学生が日本文化に接し、将来や奉仕について考える機会となります。米山奨学生とロータリアンの交流は、相互理解のみならず、双方にとって財産となるもの

です。



シンボルマークについて

シンボルマーク重なり合うハートは「ロータリアン」と「奨学生」を表しています。

外国人留学生の支援・交流を通じ、国を超えた絆や信頼関係を築き、やがて、一人ひとりの胸に世界平和を願う「“心”を育てるという、事業創設の願いが込められています。

手は、こうした“心”を生み出すと同時に、当事業がロータリアンの手で支えられていることを示しています。

2018年より、紺綏褒章の対象になりました。個人で500万円以上、団体で1,000万円以上寄付すると名誉がもらえますので皆さんぜひお願ひします。

■出席報告

- ・12月17日(火) 会員41名中 出席24名(免除2名)
- ・12月3日(火) 80.00%

第一太陽商事(株)

五十嵐 稔 会員

千代台町5-3 電話 52-8166

■ニコニコボックス

安保幹事 親睦活動委員会の皆様おつかれ様です。

野呂会員 月初めです。

嶋田・平井法律事務所

平井 喜一 会員

新川町18-12 電話 23-4834